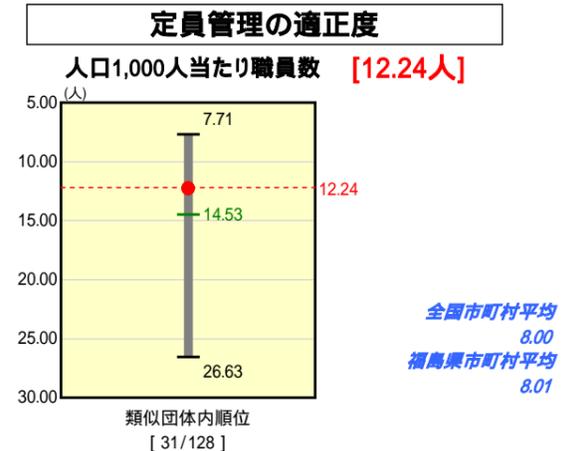
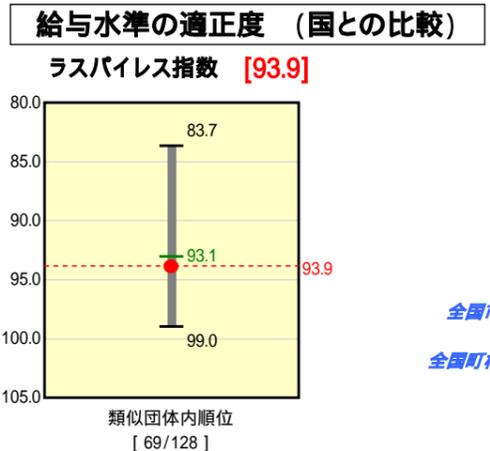
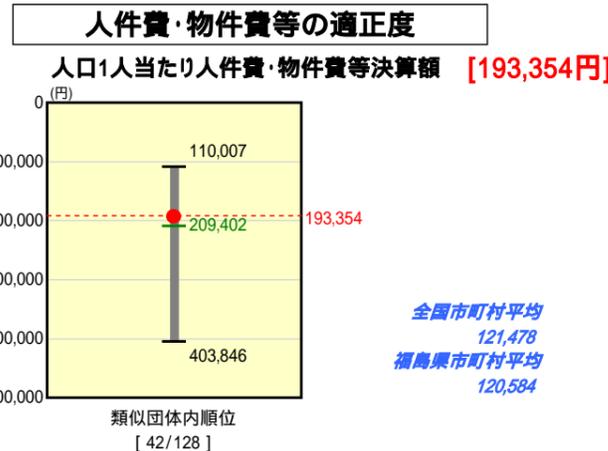
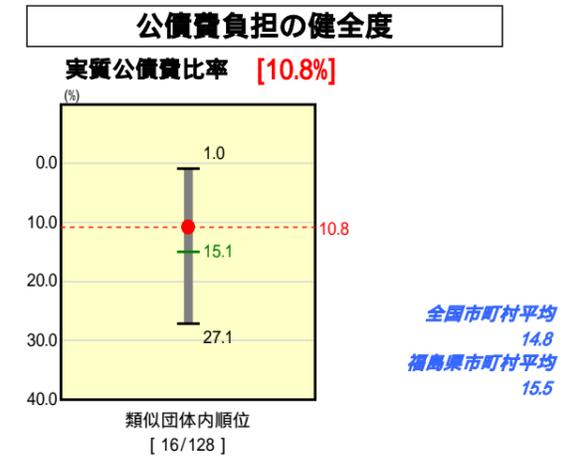
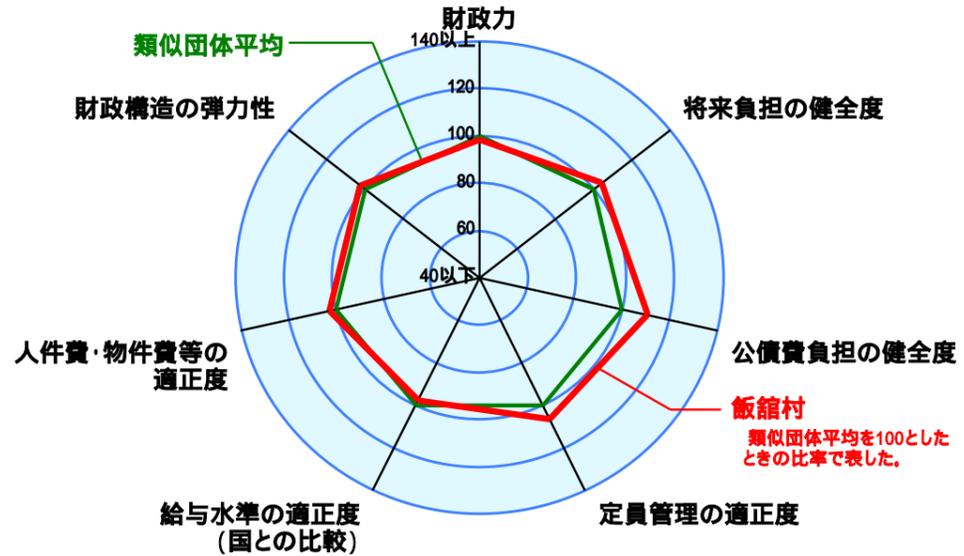
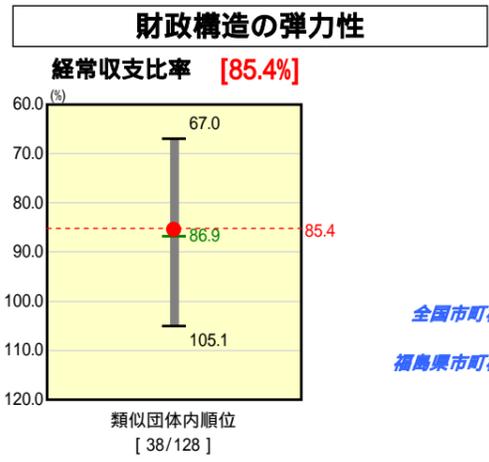
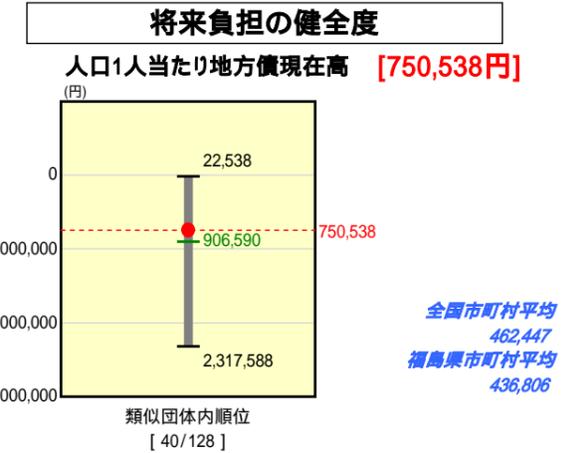
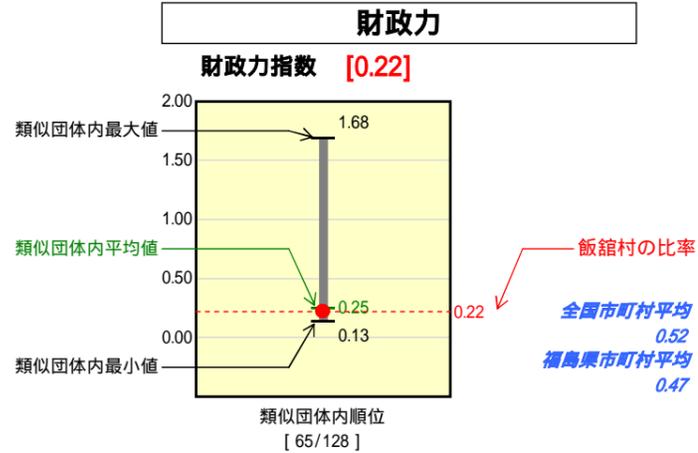


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 福島県 飯舘村

人口	7,024人	(H18.3.31現在)
面積	230.13	km <sup>2</sup>
歳入総額	3,732,382	千円
歳出総額	3,581,591	千円
実質収支	148,712	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

・財政力指数  
人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(17年度27.9%)に加え、農業が基幹産業であり工場の立地も進まない状況等により、財政基盤が弱く、類似団体をやや下回っている。「村独自の自立プラン」に沿った行財政改革と施策の重点化を推進し、健全財政を維持しつつ活力ある村づくりに取り組む。

・経常収支比率  
総務省通知による定員適正化計画(16年2月策定)に基づき(職員数の抑制(定数 15人)及び過疎債、辺地債などの優良債の活用)に努めており類似団体平均を1.5ポイント下回っている。今後も引き続き定員管理の徹底、物件費、補助費等の経常経費の抑制を進め、健全財政の維持に努める。

・実質公債費比率  
過去からの起債抑制策及び過疎債、辺地債等の優良債の借入れに努めており類似団体平均を4.3ポイント下回っている。今後も年間の地方債発行総額を3億円程度に制限し、引き続き水準を抑える。

・人口1人当たり地方債現在高  
平成15年度に小学校大規模改修事業、特別養護老人ホーム増設事業等の大規模事業により、15億2600万円の地方債を発行したが、過去の起債抑制策等により現在のところ類似団体を下回っている。今後も大規模事業の整理を図るなど、類似団体を下回った水準を維持する。

・ラスバイレス指数  
平成11年度に退職時特別昇給の是正(最高3号 2号)、12年度に公用車運転手当、給食センター手当を廃止し、給与の適正化に努めており、ほぼ全国平均の数値となっている。今後も村独自の自立プランに沿って、総人件費の抑制(目標:10年間で職員30人減員)に努める。

・人口1000人当たり職員数  
定員適正化計画に基づき(職員数の抑制)により、類似団体を2.29人下回っている。今後、機構改革を行い組織機構の簡素化(6課制 3課程)を進める他、指定管理者制度等の活用による外部委託業務の拡大等により、平成20年度までに80人程度(平成17年度86人)まで削減を進める。

・人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
類似団体と比較して、人件費・物件費の適正度が低くなっている。要因としては定員適正化計画に基づき職員数の抑制や、業務委託料等の削減を進めているものであり、今後も積極的に進める。